

(図中の文字)

寛永三年に宮田松翁齋が始めて

此地へ開店し紅葉傘と千利休の用ひし

庭下駄雪踏めせき笠を鬻ぎしに殊の外

繁昌し夫より此所をてりふり町と唱えたるよし

今も猶連綿と宮田の栄えつゝあるも

祖先のいさほしと言ふへし

千礼誌

からかさも

雪踏も

あるや

皐月の戸

東都傘るい

御はきもの品く

日本ばし区てりふり町

宮田忠蔵

御進物切子

調進